



情報発信ツールを効果的に利用してみれば

一般質問等でよく聞かれる「その情報はどのようにして町民に発信していますか」と言う一文。



松岡 大悟 議員

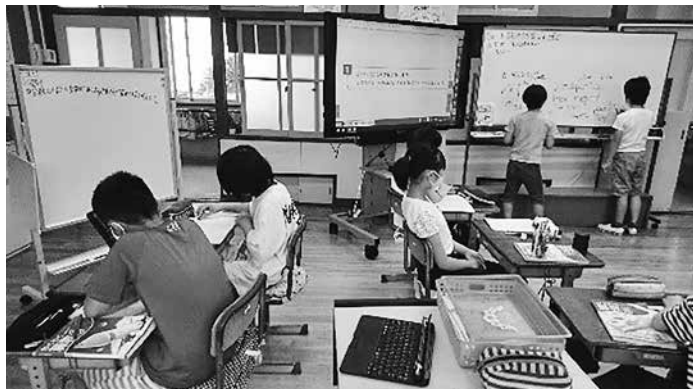
町民への情報発信の方法を問う 現行以外の発信ツールは慎重に選定する



それに対して町長は「広報ふるさと香美」「香美町ホームページ」「防災無線放送」この3つの方法で情報発信していると答弁される。
今後、さらに多世代の町民にその情報を届けるために、情報発信の方法を拡充する考えがあるのかを伺う。

町長 現在のところ、観光分野ではインスタグラム、フェイスブック、ツイッター等で、移住定住においてもインスタグラム、フェイスブック、ツイッター、LINEで情報発信を行っています。
しかし、SNSでのやり取りは、情報漏えい

による信頼の損失、プライバシー侵害、誹謗中傷被害等のリスクも同時に考えられるため、町全体の情報発信を行うツール利用はメリット・デメリットや効果を十分に研究する必要があり、拙速に導入するのではなく、慎重に行わなければならないと考えています。



複式学級での授業



上田 勝幸 議員

小中連携の教育を考えるべき 色々な制約があり、難しいです



香美町でも、少子化の進行が思いのほか早く、香住小以外、必然的に複式学級、ひいては学校の統廃合が問題になっています。この現状を打開する一つの方策として、子

ども達の学力、先生方の教育力の向上、充実が欠かせないと思う。
子ども達の何事にも、真剣に取組む進取の気性は、すぐく発達しており、一・二年先輩の授業でも吸収できる能力を備えている児童・生徒もいます。その子達のためにも小中連携の教育を考える時機にきているのでは。
教育長 本町でも、平成26年度以降、挨拶運動

の展開やふるさと教育の実践において、小中学校が連携しての一貫教育の推進を始めました。先生方も合同研修会を通して研鑽を積んだことで意識改革が進むとともに小中一貫化教育を進めようとする機運が醸成されつつあります。
小中連携はもちろん、就学前施設と小学校との連携も深めて行きたいと思えます。